

特集

指導者育成に取り組むクラブ

やっしろ総合型クラブ「リ・ボンズ」 ＜熊本県八代市＞

持続的なクラブ活動を行うためには、常に次世代の育成を念頭に、世代交代を図りながらクラブ運営に取り組むことが重要です。

そこで、指導者育成に取り組み、円滑な世代交代を行う基盤を整備している事例を紹介します。



1. 熊本県体育協会の講師派遣事業を活用し、各種教室を実施
2. スタッフ不足のため近隣の高校にボランティアスタッフ派遣を依頼
3. 資格取得に向けスタッフが養成講習会を毎年受講し、人材を育成



1 クラブ概要

設立背景

クラブの会長を務める村上久栄氏は、もともと個人として、地域でスポーツ教室、ヨガ・ピラティス教室、ウォーキングイベント、講習会などでボランティア活動をやっておりました。

村上会長が新潟県レクリエーション協会専務理事の渡辺耕司先生を招いて講習会を開催した際、ひかわスポーツクラブの齋藤久允クラブマネージャーと出会い、「総合型地域スポーツクラブを立ち上げるといいのではないか」との話があり、その後、熊本県体育協会(以下「県体協」という。)に相談したのが設立のきっかけとなりました。

設立時のキーパーソン

村上久栄、小林一美、齋藤久允の3氏

クラブ理念

「未来につなげる笑顔・元気・健康、そして夢を！」

- 住民の交流を深め、明るく活力あるまちづくり
- 子ども達の健全育成、居場所づくり
- 青年の夢と活躍場所づくり
- 高齢者の健康寿命増進、生きがいづくり

現在までの経緯

設立準備委員として設立に携わったスタッフと、週1回のスポーツ教室を開催。大人から子どもまで一緒にできる内容で会員を確保しながら、年に1~2回の単発イベントとしてウオーキング大会や講習会などを実施してきました。また、県体協が実施している講師派遣事業を活用するなどして、会員確保に努めてきました。

講師派遣事業を実際に活用した教室ですが、平成28年度に中高年向けの健康卓球教室(ラージボール卓球教室)を実施し、29年度には幼児から一般までを対象としたバドミントン教室、30年度は子どもから高齢者対象のフラダンス教室を実施しました。

現在の活動状況

- 子どものスポーツ教室
- 健康卓球教室
- ヨガ・ピラティス教室
- 高齢者の体操教室
- バドミントン教室
- ミニバレーボール教室
- トランポリン教室
- 絵手紙教室
- 生け花教室
- 単発イベント(ウオーキング大会等)



2 指導者育成に向けた動き

経緯

スタッフ全員それぞれ仕事をしているため、スタッフ不足で運営に支障をきたしていた。

目的

クラブの理念でもある、青年の夢と活躍場所づくり。

具体的な取り込み

近隣の高校にボランティアスタッフの依頼。

中高年の教室の参加者に協力依頼。

行事開催前に事前打ち合わせや役割分担の確認、必要に応じて練習などを行った。

キーパーソン

運営スタッフ全員(自分ができる所で、各自それぞれの役割を担当している)。

課題

学校等でボランティアを養成することが慣例化されていないため、開催日時によってはボランティアスタッフを確保できないこともある。また、役割分担や内容を明確に伝えないとボランティアスタッフが活躍できない。

3 指導者育成への取り組み内容

取り組み内容

- イベント開催前日にボランティアスタッフに集合してもらい、運営スタッフとともに、事前打ち合わせ(業務内容、役割分担等)を行い、高齢者の教室の中では練習や打ち合わせ等を実施しました。
- 運営スタッフやボランティアスタッフの打ち合わせ日時の調整とボランティアスタッフの役割の配分については苦劳しました。
- 事前打ち合わせができていたので、それぞれのスタッフが各自の持ち場で活躍してくれました。またボランティアスタッフの中には1回だけではなく、別のイベントにも協力してもらえました。

高校生ボランティアの依頼

- ウォーキングやイベント開催にあたり、活動内容をスタッフ間で話し合う。
- 高校生ができることを検討する。
- 学校にボランティア派遣の確認と依頼。
- ボランティアスタッフの活動内容の事前打ち合わせをして当日を迎えている。

アシスタントマネジャー資格取得の取り組み

- 講習会の情報の提供を行っている。
- 講習会に参加した人から感想を会議の際に話してもらう。
- 講習は2日間あるが、どうしても1日しか参加できない方については県体協に相談し、受講させてもらったことがある。結果的に翌年度再度受講し、資格取得につながった。

4 スタッフの意識が高まり、責任感も生まれる

クラブスタッフ・指導者への効果や影響ですが、責任感と取り組む意識が高くなったことが挙げられます。そのため、研修会や講習会への参加やクラブ運営面でも積極的になり、スタッフ間の連携が強くなりました。スタッフのスキルも上がり、指導者として徐々に活動ができ始めています。また、クラブ会員にも率先して協力してもらえるようになっていきます。イベントに参加するだけでなく、協力することで、毎年のイベントを予定に入れてもらっています。業務内容に慣れてくれたことで、運営がよりスムーズになり、助かっています。さらに、顔なじみが増えることによって笑顔も増えて会話が弾み、仲間意識が強くなりました。



5

固定した教室運営に向け、課題は安定収益と 常任スタッフ確保

指導者を育成する上での課題ですが、仕事をしながら可能なときに来てもらっているスタッフが多いため、定期的な教室運営が難しいことです。今後は安定した収益を目指し、常任スタッフを確保することで、さらに魅力のある活動をしていきたいと考えています。

「やりがい」がスタッフに生じれば、一体感のある組織に変化

クラブ理念に基づき、スタッフと共に創り上げていくことで、大変な中でもやりがいや楽しみが生まれ、一体感のある組織となってきています。焦らずゆっくりと、できそうなところを見つけて、声をかけ続けていくことで、協力してもらえるようになっていくと思います。

(熊本県体育協会 クラブアドバイザー 太田黒 尚子)

クラブ プロフィール

設立年月日 平成29年2月5日

所在地 熊本県八代市高田校区

運営 会員数88名(平成30年3月末現在)、予算規模274,000円(平成30年度)

有給職員 0名

特徴

- ・公認アシスタントマネジャー資格を取るため毎年スタッフが養成講習会を受講し、人材を育成している。その他様々な研修にみんなで参加している。
- ・ウォーキングイベントを毎年行っており、地元高校生にも協力いただいている。
- ・指導者に有資格者が多く、専門的な指導ができる。
- ・支援学校の教員も役員の一員であるため、障害がある方へのケアができる。
- ・老若男女誰でも参加できるプログラムがあるため、交流ができる。

連絡先 〒866-0063 熊本県八代市豊原上町3265-3
TEL 090-9584-6652 FAX 0965-31-8218
E-Mail hisae123456789@yahoo.co.jp